

オプテックス株式会社

2011年12月期 決算説明会

2012年 2月14日

東京：日本証券アナリスト協会会議室



I .

2011年12月期連結決算概要

執行役員 管理本部長 東 晃

1. 総括
2. セグメント別業績
3. フリーキャッシュフロー

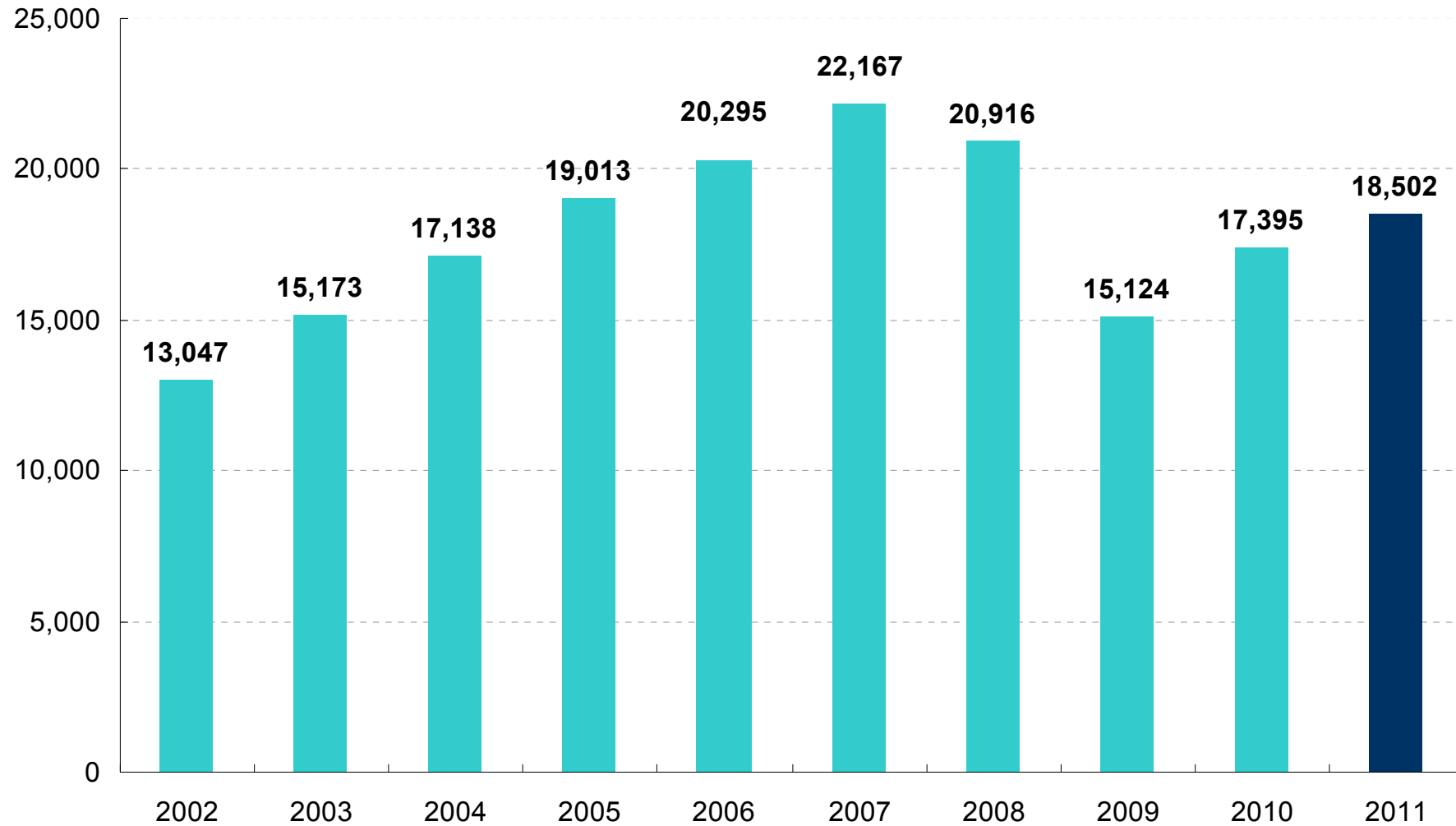
II .

中期経営計画

総括：連結売上高の推移



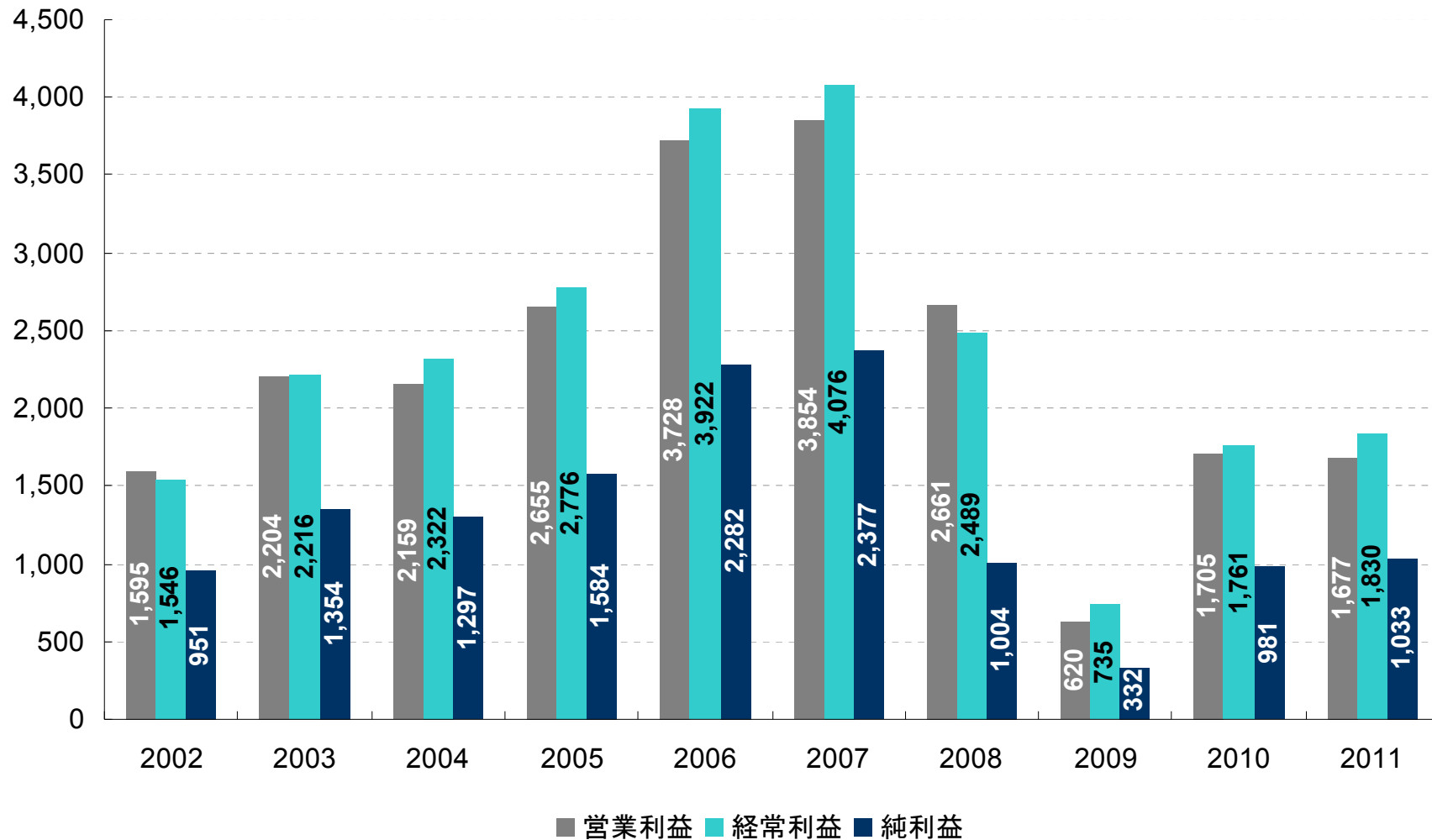
(単位：百万円)



総括：連結利益額の推移



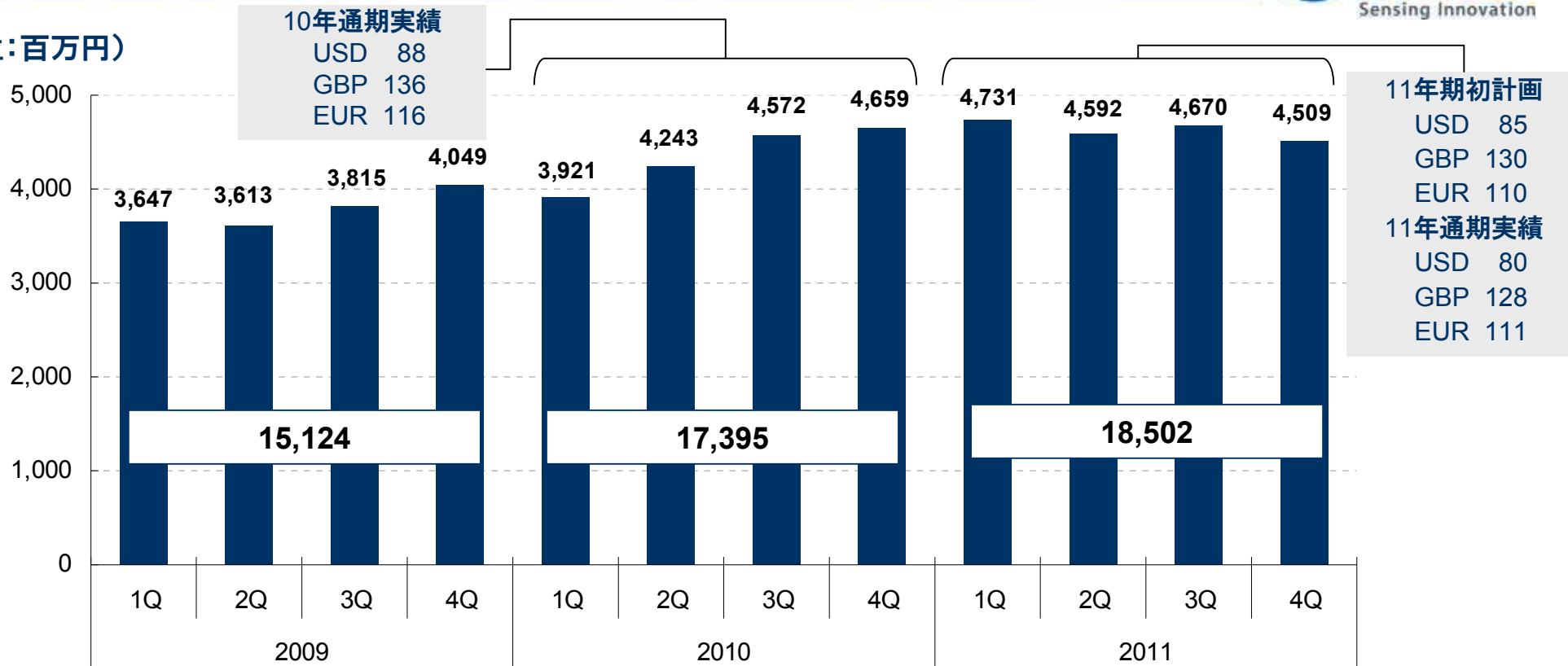
(単位:百万円)



総括：連結売上高 四半期推移



(単位:百万円)



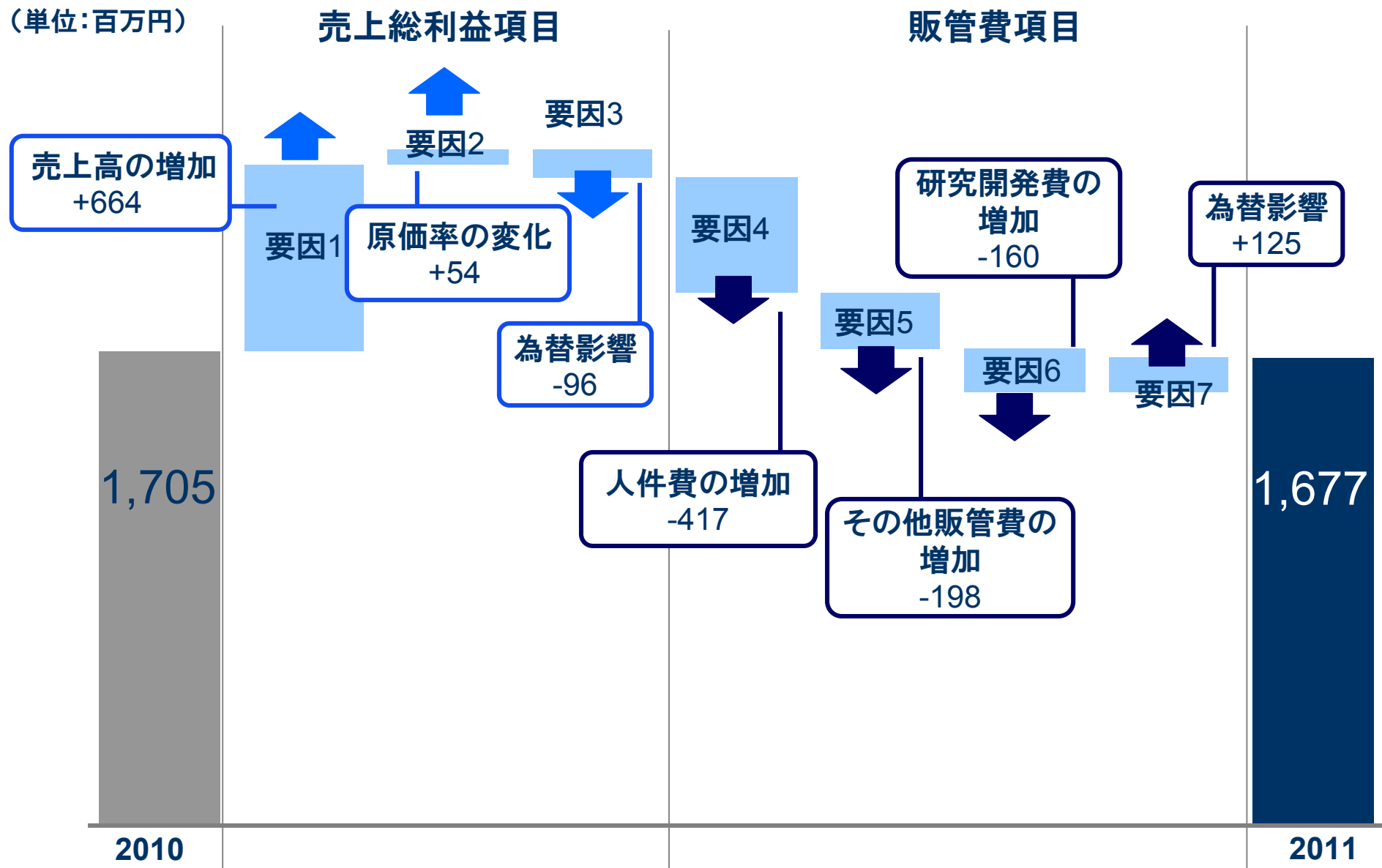
■ 通期売上高の増減要因: (防犯+5%、自動ドア+13%、FA+1%)

- ・防犯海外は円高と欧州一部諸国の景気減速による影響は受けたものの屋外用センサを中心に差別化が奏功。北米市場では「光ファイバー侵入検知システム事業」が新たに増加。
- ・自動ドア国内は自動ドア設置台数の増加に伴い、センサ販売も増加。海外は欧米自動ドア市場にてシェア増。
- ・FA国内はアプリケーション機器の販売が堅調に推移。
- ・為替の影響 ▲460百万円

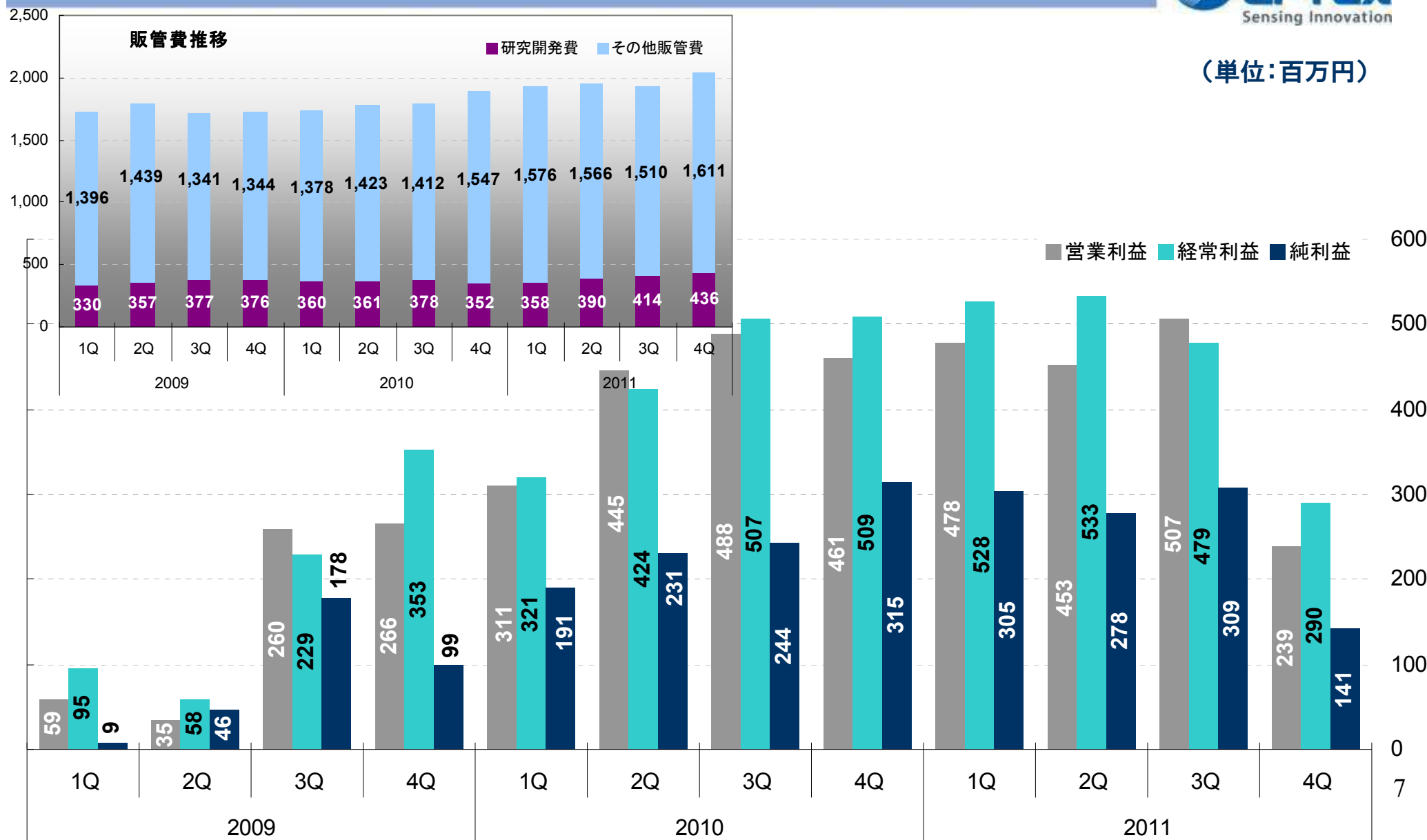
総括：営業利益増減要因



(単位:百万円)



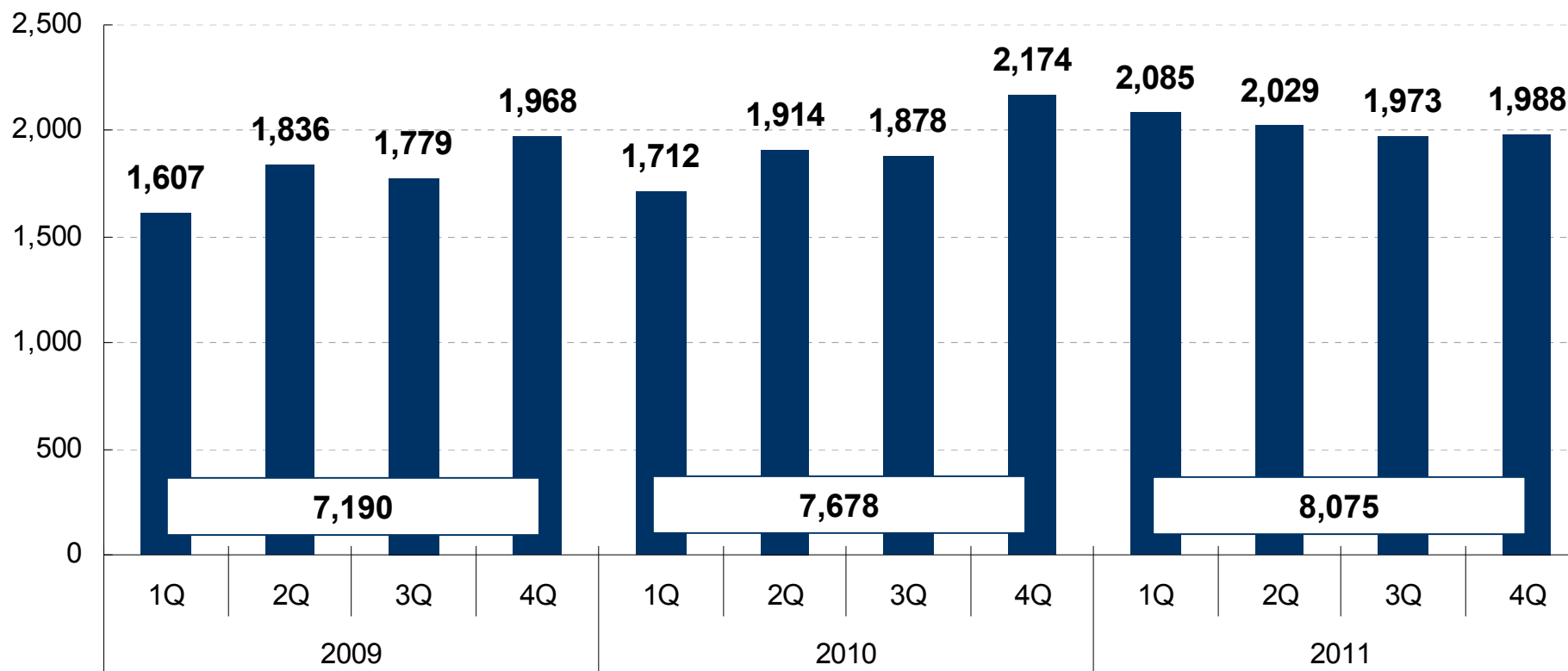
総括：連結利益額 四半期推移



セグメント別四半期売上高：センシング事業〔防犯関連〕



(単位:百万円)



■売上高実績:売上高実績: 8,075百万円 (前年度比)+5% +397百万円

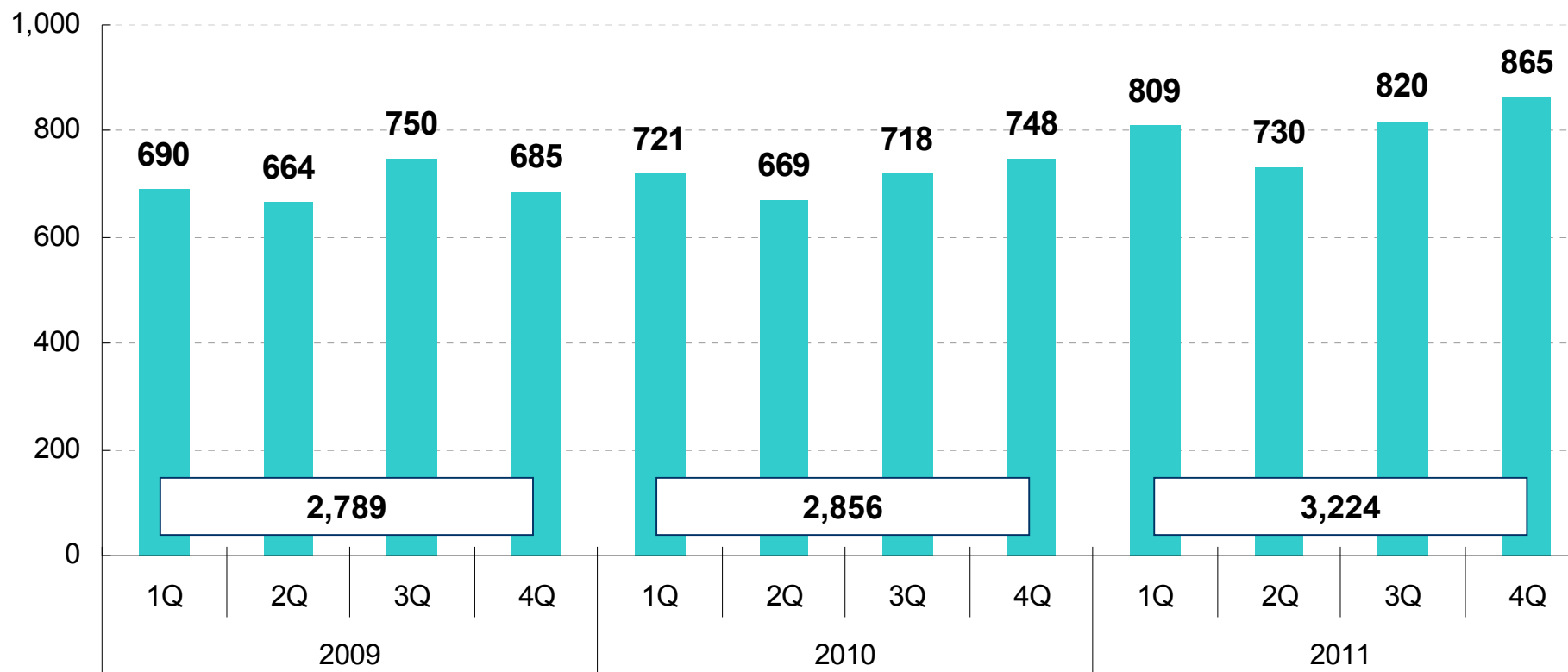
・国内:警備会社を通じた大型重要施設向け受注の減少。

・海外:防犯海外は円高と欧州一部諸国の景気減速による影響は受けたものの屋外用センサを中心に差別化が奏功。北米市場では「光ファイバー侵入検知システム事業」が新たに増加。

セグメント別四半期売上高：センシング事業〔自動ドア〕



(単位:百万円)



■売上高実績:3,224百万円 (前年度比)+13% +368百万円

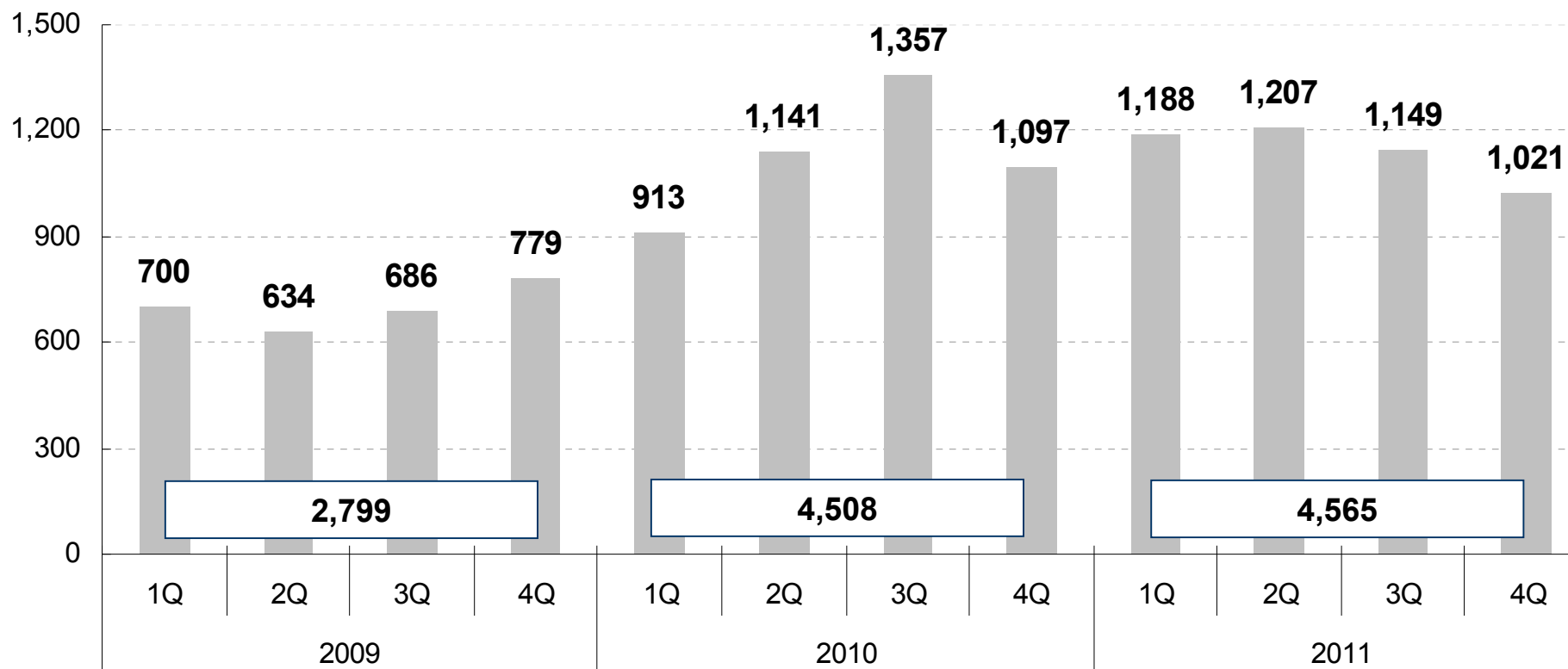
・国内:自動ドア設置台数の増加に伴い、センサ販売も増加。

・海外:欧米自動ドア市場にてシェア増加。

セグメント別四半期売上高：FA事業



(単位:百万円)



■売上高実績:4,565百万円 (前年度比)+1% +57百万円

・国内:三品(食品・医薬品・化粧品)業界、液晶関連業界向け特定用途で使用される画像センサ、変位センサ、LED照明などのアプリケーション機器が好調に推移。

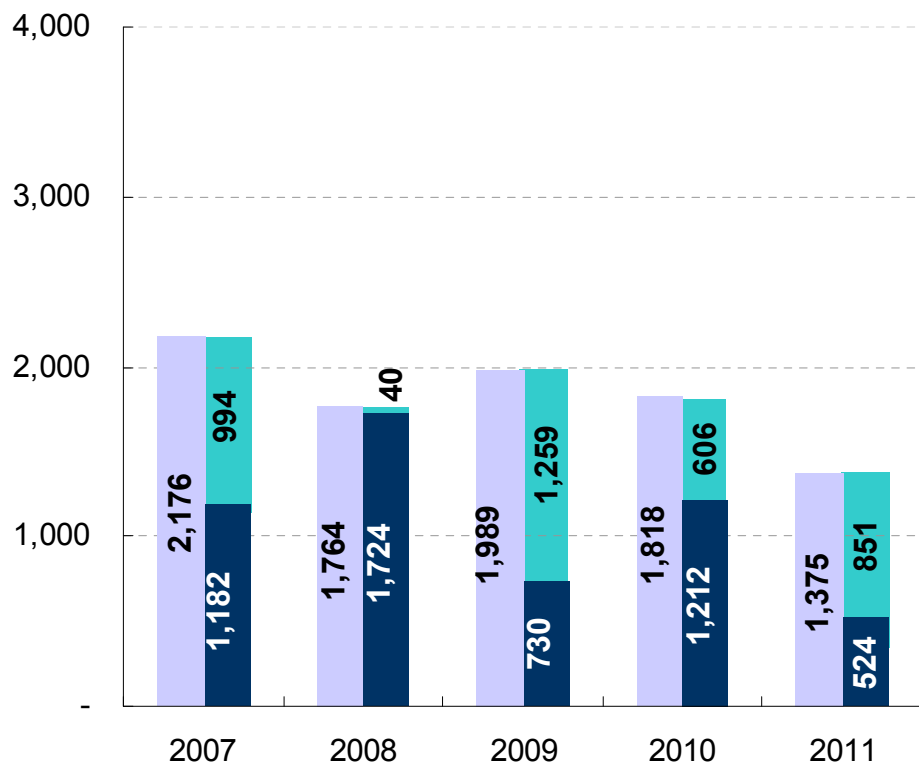
・海外:欧州向け汎用機器が景気減速のため、設備投資が抑制され、受注が前期を下回った。

フリーキャッシュフロー推移



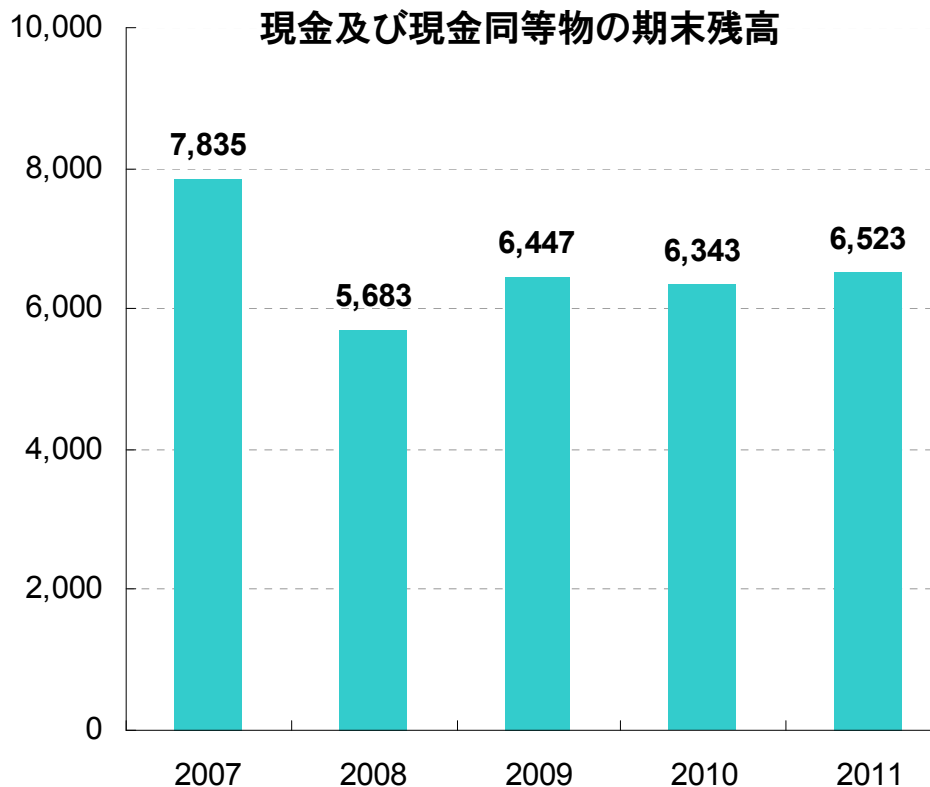
(単位:百万円)

■ 営業CF ■ 投資CF ■ FCF



・米国「光ファイバー侵入検知システム事業」の買収により、投資CF支出が前年比増加。

(単位:百万円)



・為替変動の影響による換算差額 ▲129百万円

2011年12月期 為替 計画レート・感応度



1. 想定レート

(単位:円)

	2011年 期初計画	2011年 期中平均レート	2011年 12/30レート	2012年 計画レート
USD	85	80(対計画94%)	78(対計画91%)	80
GBP	130	128(対計画98%)	120(対計画92%)	120
EUR	110	111(対計画101%)	101(対計画92%)	100

2. 1円の円高による、通期業績に与える影響

(単位:百万円)

	売上高	営業利益
USD	▲ 40	+ 27
GBP	▲ 8	▲ 4
EUR	▲ 17	▲ 14

I .

2011年12月期連結決算概要

II .

中期経営計画

常務取締役 神崎 清賢

1. 中期経営方針(2012～2013)
2. セグメント別中期計画
3. 中期業績予想

中期経営目標



(単位:百万円)

	2011年	2012年(計)	2013年(予)
売上高	18,502	23,000	30,000
営業利益	1,677	2,200	5,000
当期利益	1,033	1,400	3,000
ROE	6%	8%	13%以上
EPS	62円	85円	181円

売上300億円 営業利益50億円
達成に向けて

I. コア事業の 持続的成長

- ① 新製品開発の継続完了
 - ・コスト競争力の強化とラインアップの増強
- ② 要素技術の確立
 - ・無線&マイクロウェーブモジュールの内製化
- ③ グローバルレベルでのサプライチェーン改革

II. 新興国市場 への注力

- ① 中国拠点の強化
 - ・市場特化製品の開発と顧客開拓
- ② 露国現法設立
 - ・現地規格取得に向け体制整備
- ③ 亜州、中南米市場開拓
 - ・現地特性に基づいた事業活動を開始

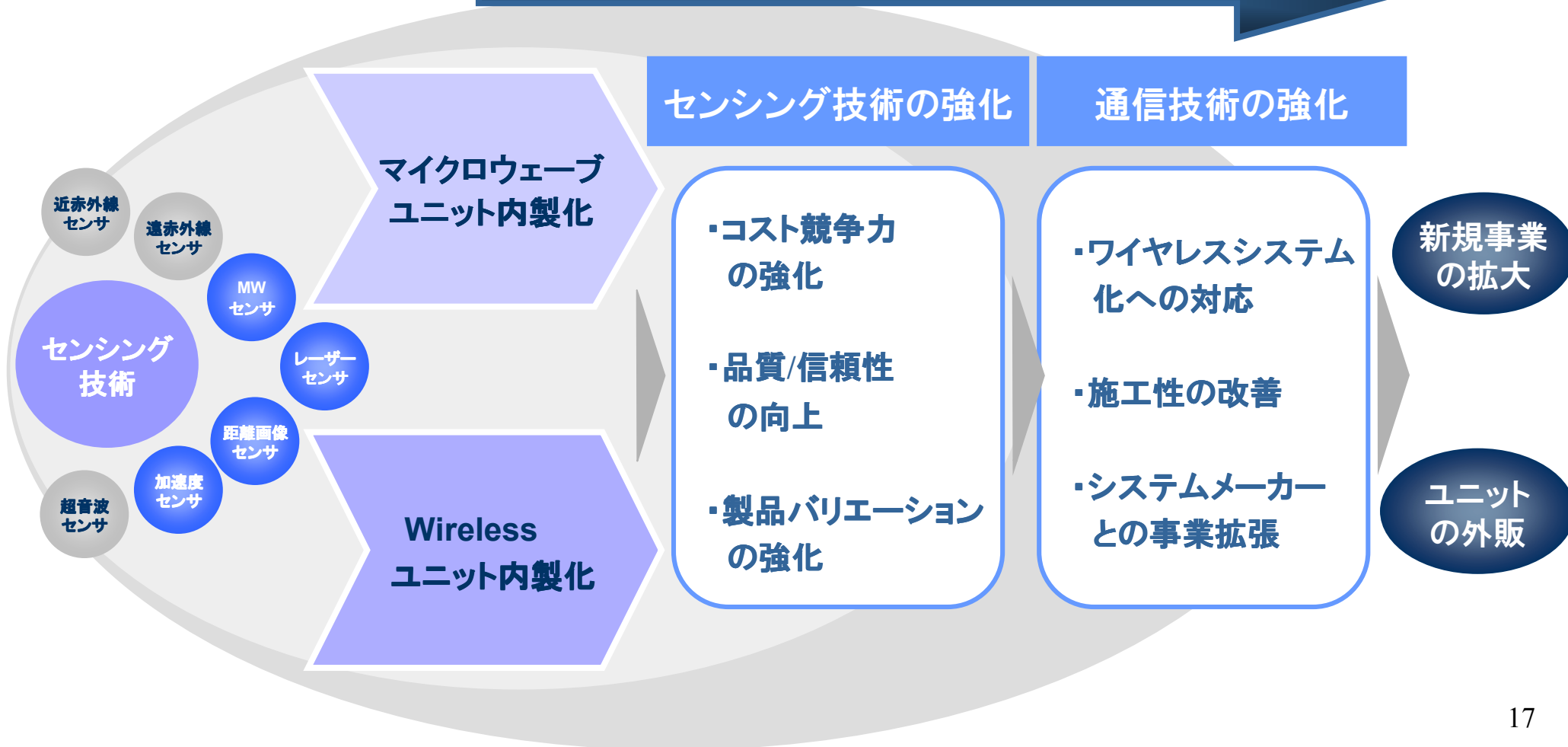
III. 新規事業 フィールド拡大

- ① M&A、業務提携を推進
 - ・英RAYTEC社の子会社化
- ② 社会インフラ需要への拡大
 - ・侵入検知から状態検出

コア事業の持続的成長

要素技術の確立と内製化による差別化

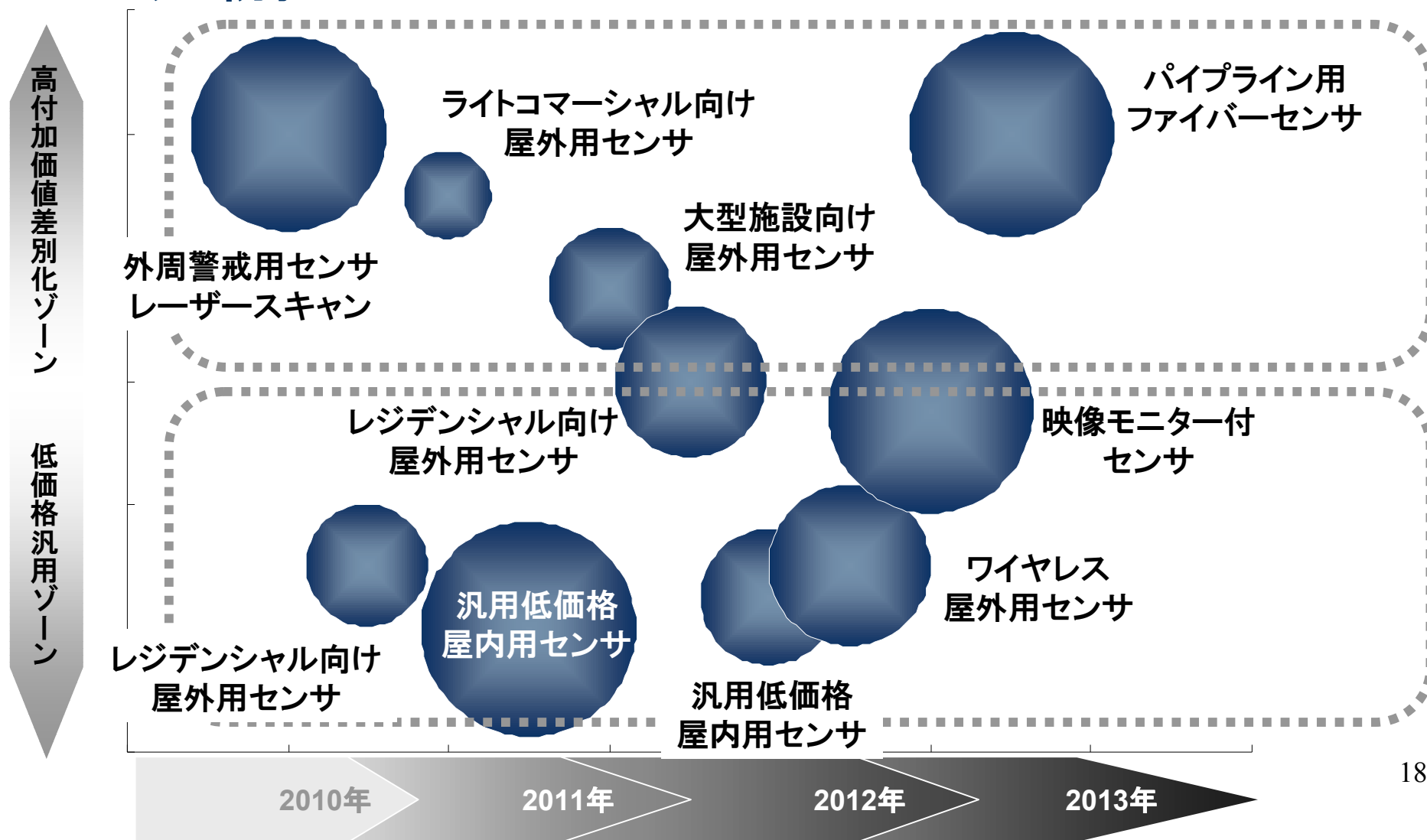
通信技術の進化とシステムの無線化



新製品継続投入によるラインアップ強化



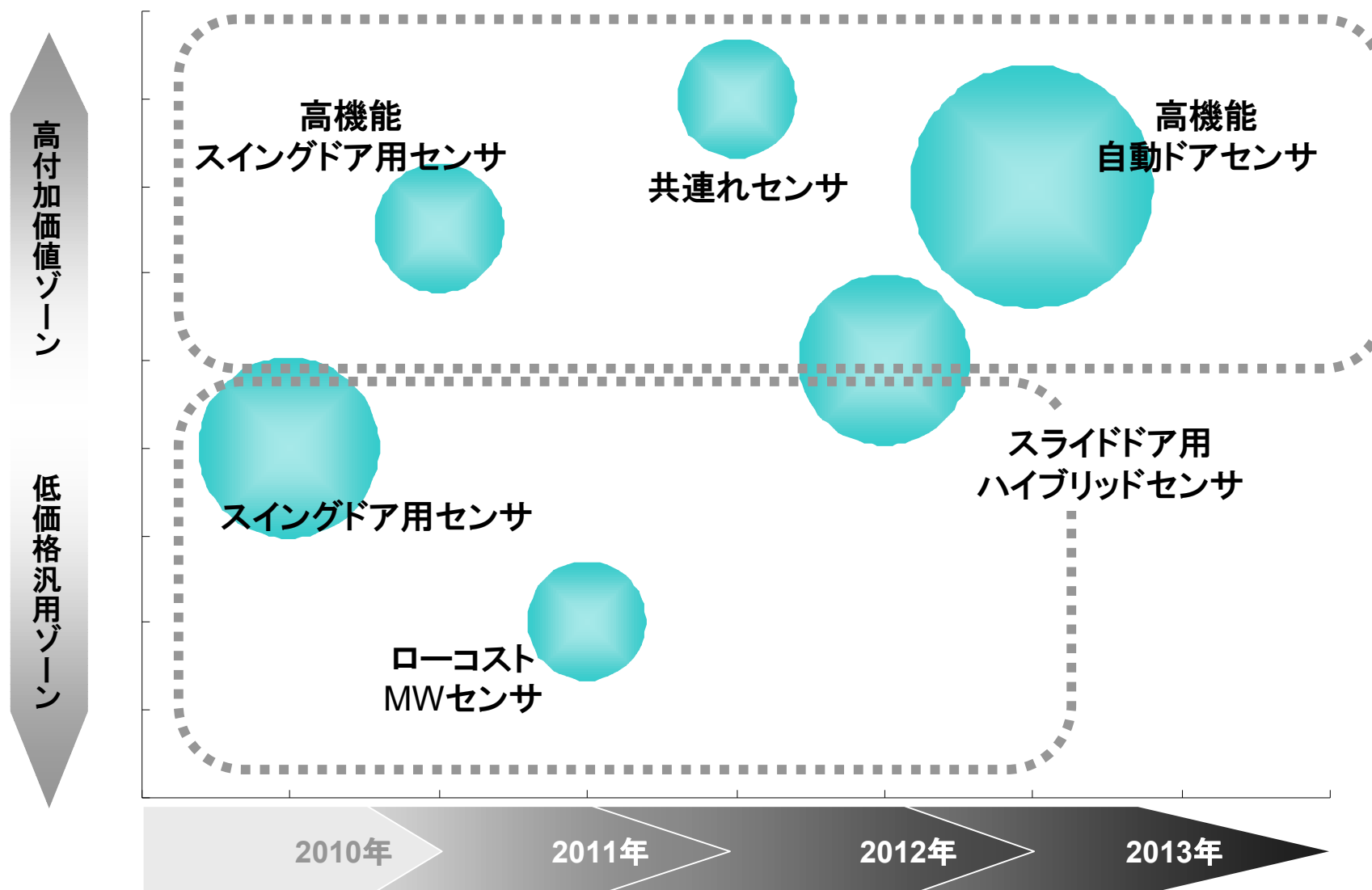
センシング 防犯



新製品継続投入によるラインアップ強化



センシング 自動ドア



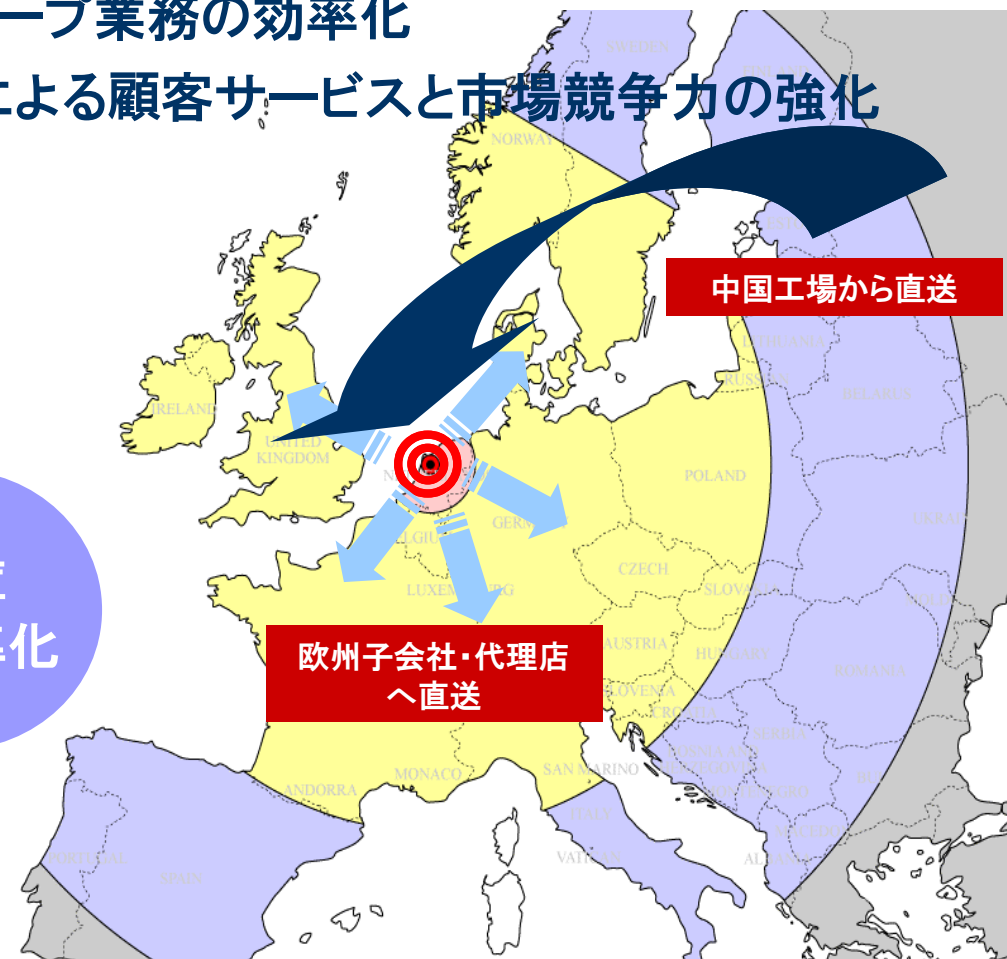
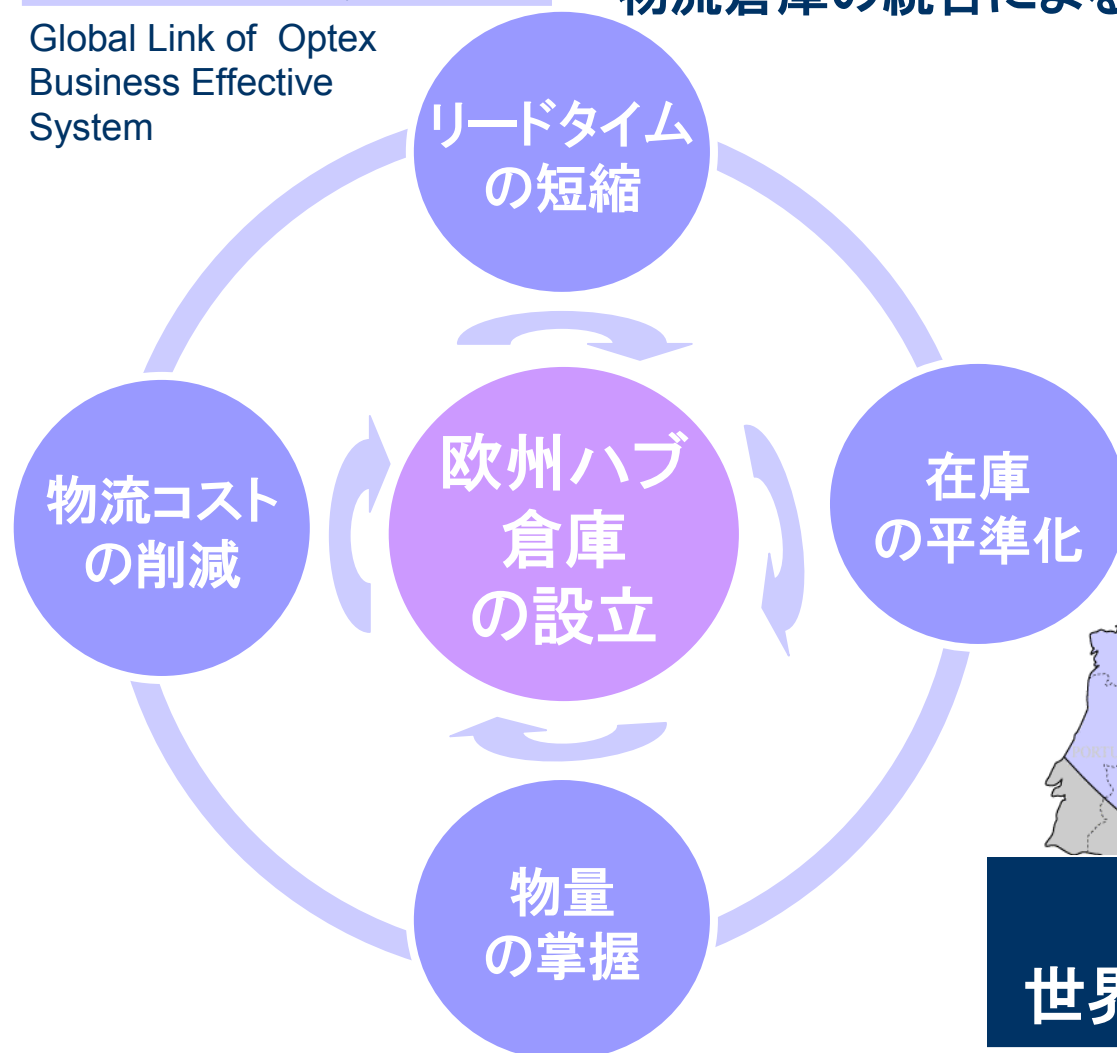
グローバルレベルでのサプライチェーン改革



GLOBE System プロジェクト

Global Link of Optex
Business Effective
System

- ・IT活用によるグループ業務の効率化
- ・物流倉庫の統合による顧客サービスと市場競争力の強化



2014年までに、
世界4極にハブ倉庫を開設予定

新規事業フィールド拡大

新規事業フィールドの拡大 ① - セキュリティ照明事業の確立 -



- ◇ 大型重要施設での屋外用長距離監視カメラの普及
- ◇ 撮像精度の向上が課題
- ◇ 長距離撮影と連動する補助照明が欧州で先行
- ◇ アジア、北米での新規需要の掘り起こしを強化

➡ **セキュリティ照明事業を世界展開**

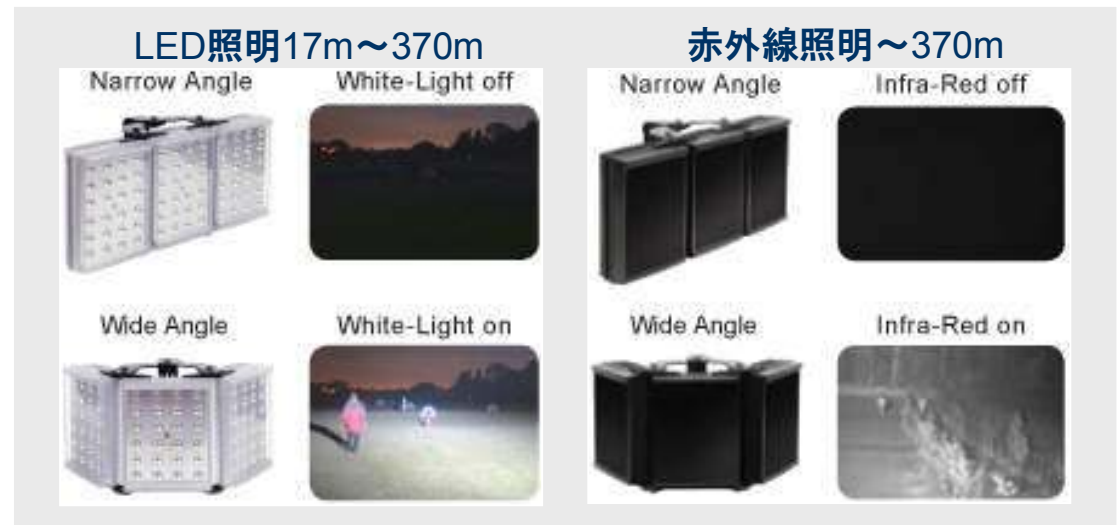


新規事業フィールドの拡大 ① – 英 RAYTEC 社の子会社化 –



世界トップレベルのセキュリティ照明ブランドを確立するため、世界市場で
No.1シェアを有する監視カメラ補助照明メーカーを買収 (2012年1月27日発表)

- ◇商号 RAYTEC LIMITED
- ◇所在地 Northumberland UK.
- ◇代表者 Shaun Cutler, Managing Director
- ◇事業内容 監視カメラ用補助照明の開発、製造、販売
- ◇設立 2005年8月
- ◇従業員数 45名
- ◇売上 £11.0M (2011年予測)



新規事業フィールドの拡大 ① – RAYTEC社の特徴とシナジー –



◇ RAYTEC社の特徴

- ① 世界トップシェアを有するカメラ補助照明メーカー
- ② 屋外中・長距離用途の暗視用赤外線照明と可視光LED照明に強み
- ③ 多彩な製品ラインアップ

◇ シナジー

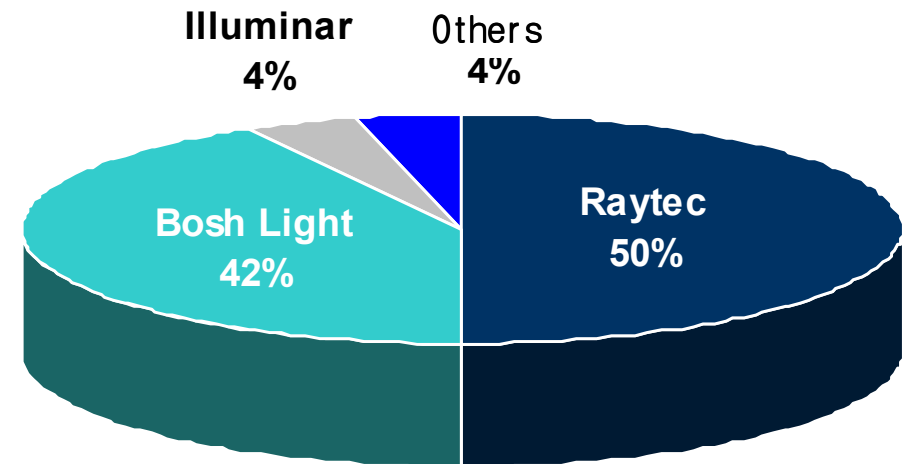
屋外センサとCCTVカメラの連動

+ カメラ補助照明

親和性が良く、監視効率が向上



**セキュリティ照明事業を
世界市場で確立**



カメラ用補助照明市場規模 US\$36M

新規事業フィールドの拡大 ② – 安全と安心、快適用途への展開 –



人体(侵入)検知

新たな用途でビジネスモデルを開拓



〔遠隔モニタリング〕

人体/物体検知～状態(異常)検知

レーザースキャン



〔踏切侵入検知〕



〔サーバールーム広域
天井監視〕

ファイバーセンサ



〔パイプライン漏れ検知〕

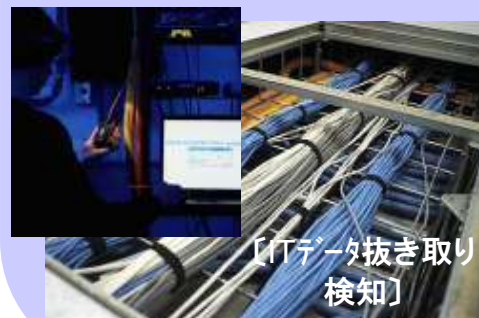
〔広域発電所施設外周検知〕



〔格納庫機体損傷防止〕



〔広域浄水場異常検知〕



〔ITデータ抜き取り
検知〕



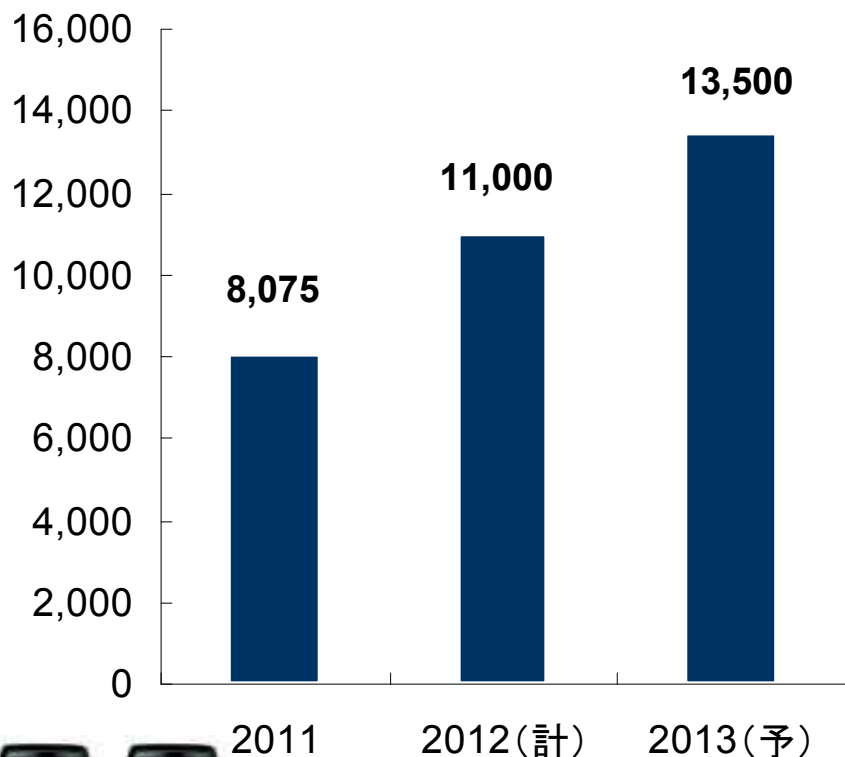
〔広域軍需施設外周検知〕

センシング事業 防犯関連

【センシング事業 防犯関連】 - 中期事業方針 -



(単位:百万円)



屋外用赤外線センサ



ファイバーセンサ

レーザーセンサ



成長戦略

① 既存販路

- ・欧州ハブ倉庫:子会社・代理店B/Sインパクト低減し、市場競争力の強化
- ・新製品:コスト競争力の強化と屋外センサラインアップの増強

② 新興国

- ・中国、露国、亜州、中南米:現地特性に基づいた事業展開を加速

③ 新規事業

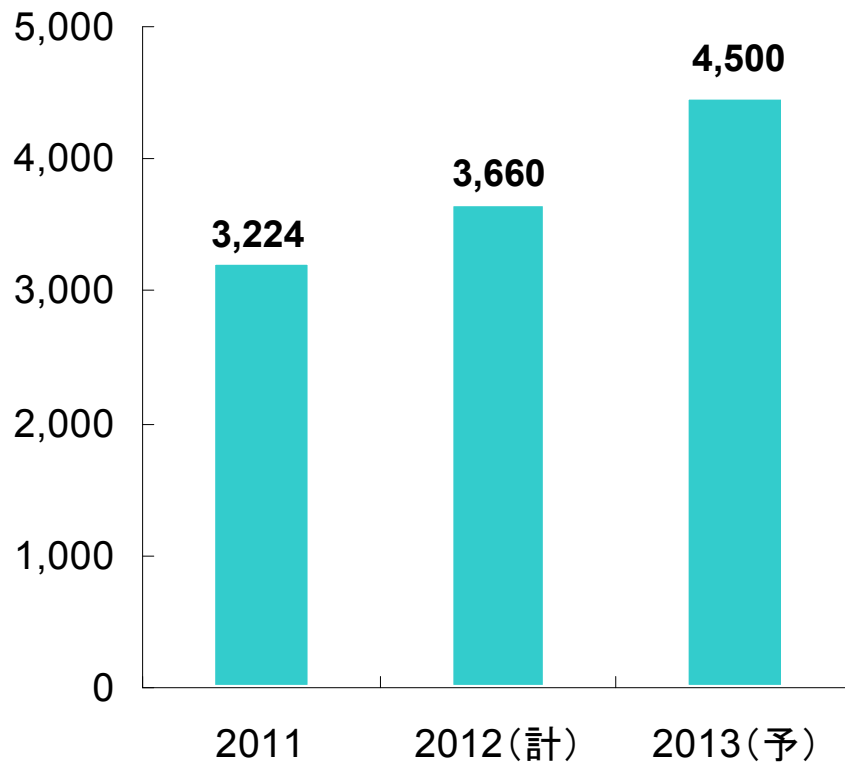
- ・M&A:英RAYTEC社買収。欧米、亜市場にて、大型重要施設向け屋外センサ需要の拡大とセキュリティ照明事業の確立
- ・レーザーセンサとファイバーセンサによる新規需要の掘り起こし

センシング事業 自動ドア関連

【センシング事業 自動ドア関連】 - 中期事業方針 -



(単位:百万円)



成長戦略

①国内市場

・自動ドア:自動ドアメーカーへの販売強化

②海外市場

・自動ドア:ドア方式に即したセンサバリエーションを展開、欧米自動ドアメーカーを攻略

③新規事業

・商材拡大のため、次なる事業軸を創出



スイングドア用センサ



スイングドア用センサ



スライドドア用
ローコストMWセンサ

セグメント別 中期事業方針

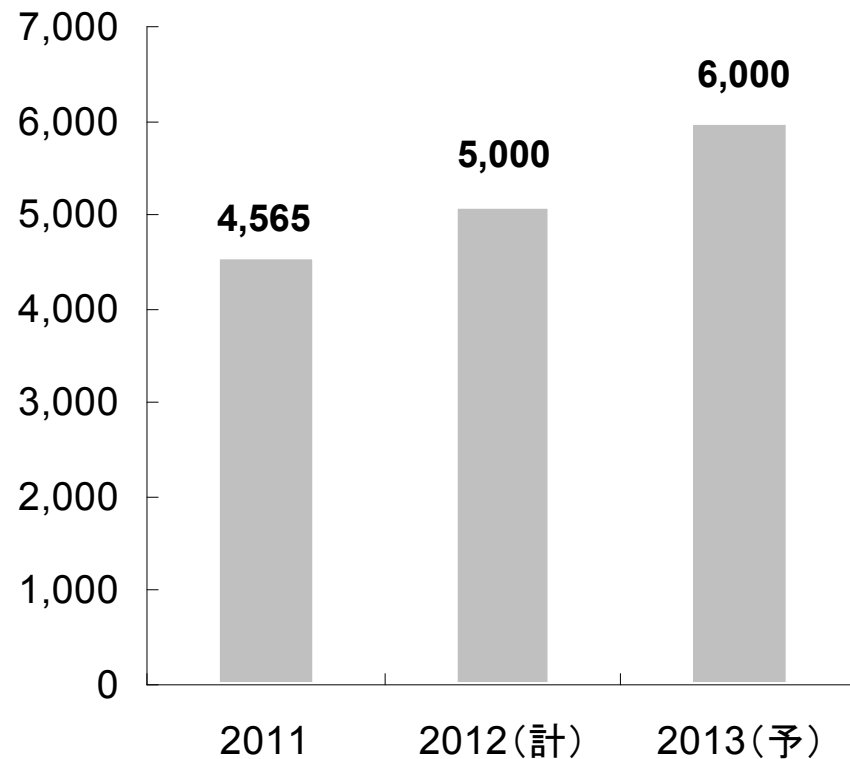


FA事業

【FA事業】 - 中期事業方針 -



(単位:百万円)



成長戦略

① 国内市場

- ・アプリケーションセンサ:三品業界向け画像、LED照明、変位センサなどアプリケーション特化型センサの拡販に注力
- ・協業:三菱電機との協業製品を展開。半導体・FPD・太陽電池業界向けに販売を注力

② 海外市場

- ・新興国:国内市場をベースに付加価値を高めた画像、LED照明、変位センサを中心とするアプリケーションセンサをアジア、インド、南米を中心とする新興国市場向けに展開し、拡販に注力



センシングLEDリング照明



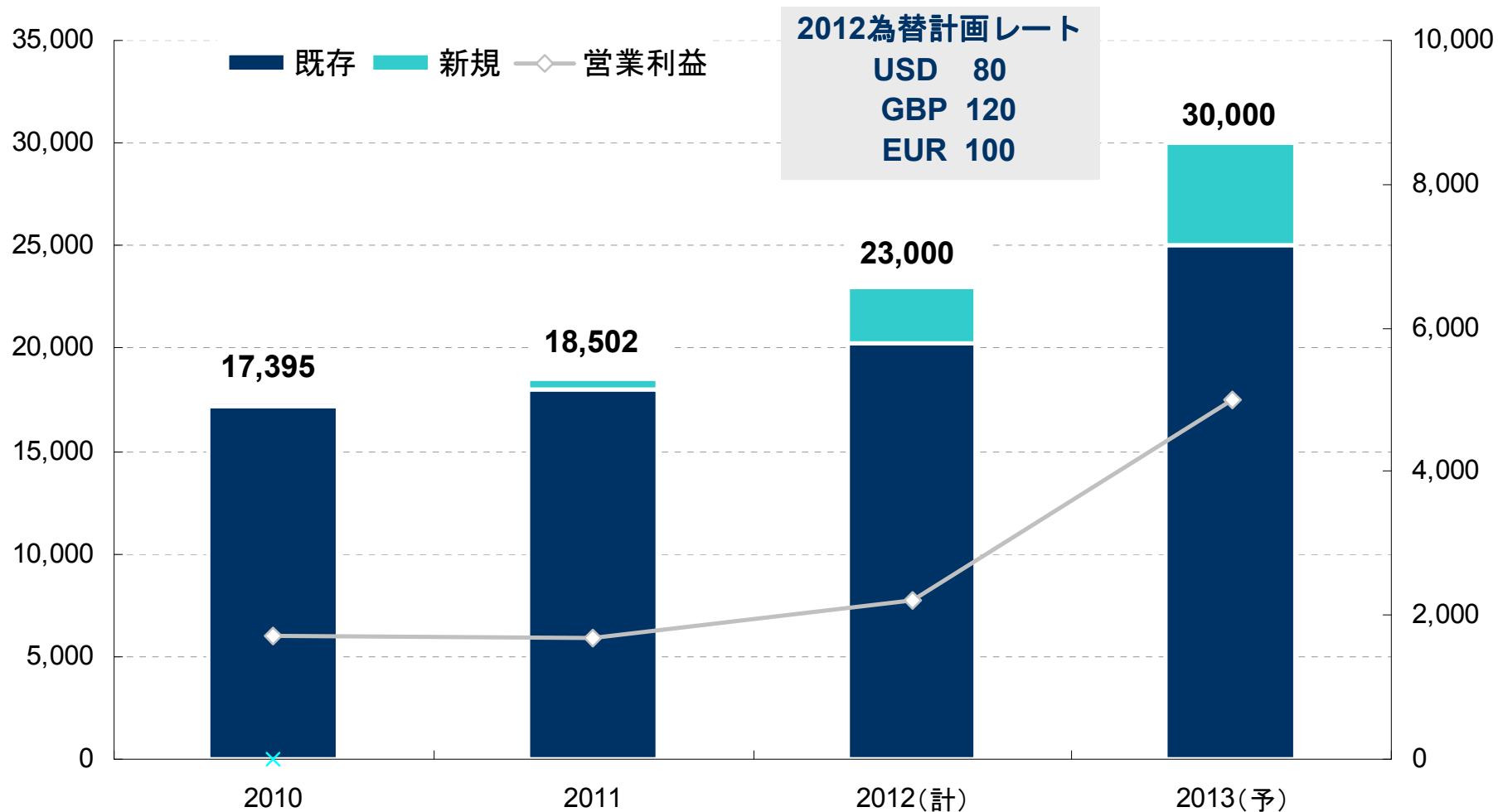
三菱電機シーケンサ用
変位センサコントロールユニット

中期業績予想



2013年 売上高300億円、営業利益50億円達成を目指す

(単位:百万円)





Sensing Innovation

オブテックス株式会社

***本資料で記述されている業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。**